ｉＰｈｏｎｅ・ｉＰａｄ、Ａｎｄｒｏｉｄでも読める話題のＫｉｎｄｌｅ電子書籍「実践!プロの教え方ー殴らず、怒鳴らず、人を育てる!」がリリース！

部下を育てるあなたに必読の一冊！研修コンサルタント事業に３０年携わる佐藤氏の導く「人の育て方」とは何か！？自分より「優秀」な人材を育てる「究極」の方法を紹介！！
自分よりも優秀な人材を育てることは結果自分の評価を高くする。

●教える立場の人間が持つべき３つの心構えとは！？あなたは教えることに対する「コミットメント」を考えていますか？
⇒教えることで自分も育つ。すべての社会人に言えること。

●コーチングより「ティーチング」が部下を育てるのに効果的な理由とは！？
⇒より莫大な効果をあげる「６つのステップ」を伝授。

●上司が部下に教えるもっとも重要なものとはなにか！？
⇒「目的・モチベーション・意義・勇気」の4つのマインドで部下がみるみる育つ！

本書では「人に教えるということの原理・原則」をだれでもわかりやすく解説。
また、章の間に挟まる「ビジネスコラム」と「偉人たちの教育者論」で実践的なスキルも学べます。

ｉＰｈｏｎｅ、ｉＰａｄ、Ａｎｄｒｏｉｄ端末向けに電子書籍配信を行う株式会社オープンアップス（東京都渋谷区：代表取締役 加藤秀樹）は株式会社アーク出版（東京都新宿区：代表取締役川口
渉）より刊行されている「実践!プロの教え方ー殴らず、怒鳴らず、人を育てる!」のＫｉｎｄｌｅ電子書籍を５月３０日よりＡｍａｚｏｎ Ｋｉｎｄｌｅストアで配信を開始しました。

【書籍概要】
タイトル ：実践!プロの教え方ー殴らず、怒鳴らず、人を育てる!
値下げ開始日：２０１３年５月３０日（水）
価格 ：書籍定価１，４７０円→Ｋｉｎｄｌｅストア特別価格
カテゴリ ：ブック
ＵＲＬ ：

http://www.amazon.co.jp/dp/B00CWFS2K6/openapps0e-22

【 目 次 】

●なぜいまティーチングなのか――「教える力」を取り戻すために

●プロローグ なぜ思いどおりに部下は育たないのか

・なぜ部下を育てなければならないのか――次世代が育たなければ自分の組織も居場所もなくなるから
・教える立場の人間が持つべき３つの心構えとは？――それだけの覚悟と意識改革、そして結果が必要
・部下指導のためだけの時間をとっているか――１日10分でもそれだけの時間を作る
・なぜ何回言っても部下にはわからないのか――「言っているだけ」では教えたことにならない
〈コラム〉禁じ手の〝上司目線〟
〈偉人たちの教育者論１〉吉田松陰

●１章 「部下を教える」ということの意味

・なぜ新人にはコーチングよりティーチングなのか――基礎固めはティーチング、能力を高めるコーチング
・どんなレベルに達するまで新人を育てるのか――その会社で「一人前」と認められるまで教え続ける
・部下のレベルに応じた教え方をするには？――人材マトリックスで部下の現状を知る
・どんな変化が起きたら部下を教えたといえるのか――部下に４つの変化があって初めて成果が出たことになる
・上司が部下に教えるもっとも重要なものとは？――知識・技術よりもマインドを重視する
・「マインドを教える」とは具体的に何を教えるのか――目的・モチベーション・意義・勇気の４つ
・知識や技術を教える際に注意すべき点は？――文字になっていない会社の不文律、実態なども教える
〈コラム〉修行の３段階「守・破・離」
〈コラム〉選択理論とは
〈偉人たちの教育者論２〉近藤内蔵之助

●２章 部下から尊敬される上司の心得

・熱意と根気をもって教えるために必要なものは？――愛情をもって教えれば部下は尊敬をもって応える
・部下を評価する際の注意点は？――良いときも悪いときも公正公平を心掛ける
・「失敗談」を話すことはなぜ効果があるのか――同じ道を歩む部下にとって教訓となる
・「手柄話」「苦労話」をなぜしてはいけないか――部下に得るものがないばかりかモチベーションを奪うから
・教えることに完璧を期してはいけない――準備は万全でも思うように指導できないこともある
〈コラム〉 部下を簡単に諦めない
〈偉人たちの教育者論３〉 西郷隆盛

●３章 いざ実践のティーチング

・ティーチングはどのような段取りで進めるのか――効果をあげるには６つのステップを踏む
・実例に学ぶティーチングの進め方――マインド・知識・スキルの組み合わせ
・なぜ「部下をほめる」のが不可欠なのか――部下のモチベーション維持が図れるから
・部下のモチベーションをグンと上げるほめ方とは？――本人だけでなくチーム全体にも好影響を及ぼすほめ方

・部下を叱る際に注意すべき点は？――間違いを正し、具体的に指導する
・部下のタイプ別ティーチングの注意点は？――女性・年上の部下・反抗的部下などへの接し方
・教えたことをより確実に身につけさせるには？――テストを実施すれば知識の確認ができる
〈コラム〉具体的に、わかるように教える
〈コラム〉間違ったティーチング
〈コラム〉学校教育にもＰＤＣＡを
〈偉人たちの教育者論４〉坪内逍遙

●４章 教える環境を整える

・新人と同時にチームも教育する理由は？――チームに新人を育てる気がないと効果が上がらないから
・チームで新人を教える際のポイントは？――先輩社員に指導を任せると数々のメリットがある
・指導者ごとに話が食い違った時はどうする？――意見を聞く機会を奪わず翻訳して部下に伝える
・結果を出す力と出させる力の違いを知っておく――上司は知っていることをいかに伝えるかを勉強する
・ティーチングに必要な知識を得るには？――上司は部下以上に学び続けなければいけない
・ティーチングでの話し方のポイントは？――相手に伝わる話し方・準備・あがり対策
・ティーチングでの板書のポイントは？――読ませるより見せるつもりで書く
〈コラム〉 否定的な意見も成長の肥やしに
〈偉人たちの教育者論５〉 佐藤一斎

●エピローグ 教えるのに必要なコミュニケーション力と忍耐力

●上司が変わらなければ部下は育たない――あとがきに変えて

http://www.amazon.co.jp/dp/B00CWFS2K6/openapps0e-22

【著者紹介】

佐藤 英郎（さとう えいろう）
北海道出身。明治大学法学部卒業後、同大学法制研究所を経て、研修コンサルタント事業に30年携わる。
現在、アチーブメント株式会社取締役・主席トレーナー及び現実行動マネジメント研究所所長。公開研修及び管理職研修を全国で展開。LOUIS VUITTON、電通、キリンビール、ネスレグループをはじめとする250社以上の研修実績を持つ。その受講生は延べ20万人にものぼる。
リーダーシップ理論、ビジネスコーチング、DiSC理論、選択理論などを組み合わせた卓越した指導内容は、多くの企業、参加者の高い評価を得ている。
国際コーチ連盟（ICF）マスター認定コーチ、DiSCマスタートレーナー、全日本能率連盟マスター・マネジメント・コンサルタント、日本選択理論心理学会会員。
著書に『職場のコーチング術』、『部下をひきつける上司の会話術』、『プレイングマネジャーのための新図解コーチング術』（以上、アーク出版）、『殻を破れば生まれ変われるかもしれな

い』、『気づく人気づかぬ人』、『キッズコーチング』、『人生が変わる瞬間』（以上、アチーブメント出版）ほか多数。
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー
ｉＰｈｏｎｅ・ｉＰａｄ１６０アプリ以上の配信実績と有料総合ランキング１位を獲得した電子書籍アプリを多数配信！！
http://bit.ly/xOK5KN

■当プレスに関するお問い合わせ先

会社名　：　株式会社オープンアップス
ＵＲＬ　：　http://openapps.co.jp/
所在地　：〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町22-14 N.E.Sビル S棟3F
ＴＥＬ　：　03-6681-4435
ＭＡＩＬ：press@openapps.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com